



主催/信州大学

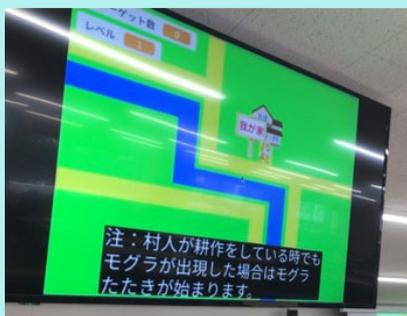
後援・協力/長野県教育委員会, 長野市教育委員会, エス・バード デジタルものづくり工房ファブスタ★
アンビズム, MITメディアラボ・ライフロンギンダーガーデングループ

育成塾通信 No.28 2023.02.28発行

育成塾とは、国立研究開発法人 科学技術振興機構による「科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランの開発・実施を行うことを支援」するジュニアドクター育成塾事業として、2019年から信州大学が採択されたものです。

第4期第1段階：グループ制作発表会

2022年12月25日にジュニアドクター第1段階グループ制作発表会が、長野会場、飯田会場、自宅を繋いでのハイブリッド形式で開催されました。今回の制作のテーマは、「高齢者も楽しめるeスポーツ」です。各チームごとにそれぞれの個性が溢れた作品が揃いました。チームごとの発表に加え体験会を実施し、面白い作品たちに会場はとても盛り上がりました。発表後は教員、学生メンター、保護者の皆様からも評価をいただき振り返りを行います。それぞれの作品と受賞した賞の紹介です。



最優秀賞

モグラたたき×町・畑作りゲーム！！

評価者の皆様からも完成度の高さについてたくさんのコメントを頂くことが出来ました。堂々の最優秀賞の受賞です！！おめでとうございます！！
受講生には、賞状と最優秀賞・優秀賞には小倉先生お手製の盾が贈られました。



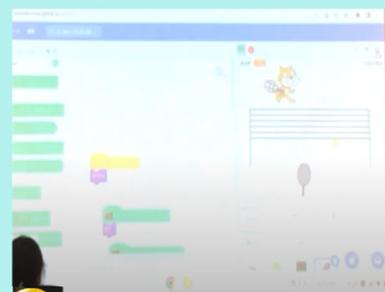
優秀賞

猫なでなでゲーム



技術賞

長生きフィットネス



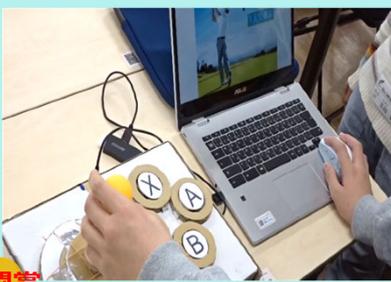
敢闘賞

運動不足+認知症予防



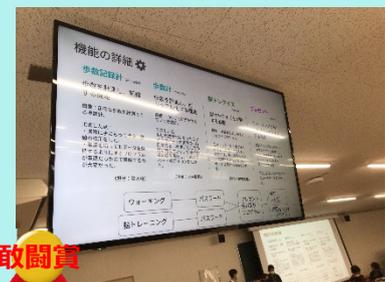
優秀賞

楽しく認知症を予防しよう



敢闘賞

高齢者でも楽しめる
パズルゴルフゲーム



敢闘賞

アンチエイジングしたい人のための
脳トレ&ウォーキング



優秀賞

祭り気分楽しめる3D空間
(金魚すくい)



技術賞

体を動かして遊ぶ迷路
(脱出ゲーム)



アイデア賞

REFREST yoga



第3期第2段階：最終成果発表会・修了式

最終成果発表会が令和4年12月25日に開催されました。受講生のみなさんは、夏から取り組んだ研究の集大成を見せました。ここでは発表された作品の一部を紹介します。

最優秀賞

通りかかった人に掃除
をお願いするロボット

ねだりん

倉石響さん



初めは手すりを自動で掃除するロボットが作りたかった倉石さん。制作が思うように進まなかったとき、『弱いロボット』の存在を知ります。ねだりんは掃除をするロボットではなく、掃除を「お願い」する『弱いロボット』です。

【皆様からのコメント】完成度が高かった。弱いロボットという言葉が印象的だった。問題に対する解決の方法がすごいと思った。発想の転換が素晴らしいと思った。研究に至るまでの経緯や、研究の過程が分かりやすかった。

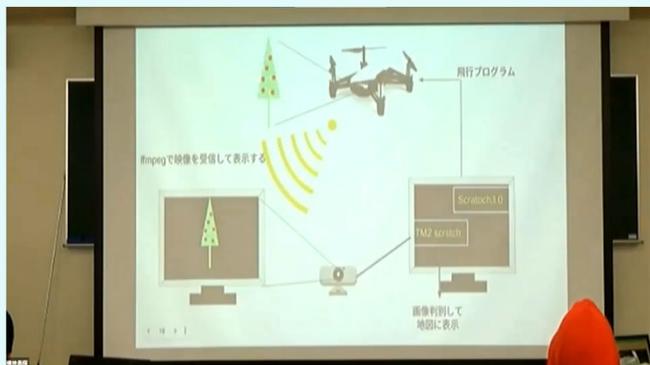
優秀賞

ドローンで庭を見回る

ガーデンパトロール

奥川楓太さん

家に誰も居ないときに庭を見回って、収穫できるトマトがある位置をお知らせしてくれるドローン。今後は天候によって飛行できるか判断する機能を付けたいのだそう。



【皆様からのコメント】自分が困っていることを解決しようとする視点が素晴らしいと思った。発表が分かりやすかった。他の野菜の判別もできるようになってほしい。

優秀賞

より実用的なアプリを目指して
リモートワーク・
リモート授業支援システム

宮澤希成さん

メモ機能、良い姿勢がとれているかをチェックする機能、タイマー・アラーム機能がすべて一緒になったアプリ。スケジュールやタスクを確認できる機能なども追加し、さらに便利なアプリを目指しているとのこと。



【皆様からのコメント】アプリの画面が見やすいと思った。発表が分かりやすかった。発表の度に機能が追加されているのが印象的だった。

最終成果発表会のあとは修了式が行われました。修了式では修了証の授与したのち、先生や学生メンター、そして受講生から一人一言ずつ感想をいただきました。村松先生からは「結果はさることながら、ここまでみんなで『どうしようかな』『ああしようかな』と取り組んできた、この過程が今後大きな財産となる」とお話をいただきました。学生メンターは「スクラッチやマイクロビットは教材だと思っていたが、皆さんの研究で、それを医療につなげたり、非日常的なドローンを生活に結び付けたりできることを知り、可能性を感じた」とコメントしました。受講生からは「自分が興味のあることを探求できて、それを相談し合える環境が貴重で楽しかった」といった感想が聞かれました。

編集後記

第1段階のグループ制作、第2段階の最終成果発表会と、これまでの学びが形になって表現されています。形になった時の、受講生の充実した姿がこの講座の醍醐味です。皆が困っていること、まだ明らかになっていないことを、自分たちで切り拓いて解決していく。未来を創る受講生の大きな力が感じられます。

